



善循環の輪 千葉県の集い in 成田を開催しました

4月15日(土)、「全循環の輪千葉県の集い」が千葉県成田市の成田国際文化会館で開催されました。当日は、晴天にも恵まれ、会場の成田国際会館大ホールには、早くから来場者が訪れ、1階席(900席)を埋め尽くすほどの盛況となりました。

この日の集いは映画「蘇生」から始まりました。その後の開会式では、隣の茨城県からも100人を超える応援団がマイクロバスで駆けつけてくれたことが紹介され、場内に熱い拍手が響きました。

事例報告では、千葉県最南端で10数年にわたり、毎週休むことなくEM活性液を大量に投入してヘドロを解消し、川も海もきれいになったことが報告されました。しかし、一方では、それが当たり前になって住民の関心が次第に薄れ、後継者不足への対応などこれからに向けて新たに活動を模索していることも語られました。比嘉照夫教授は講演の中で、東京湾の入り口での活性液の大量投入が、日本橋川の投入と呼応して、今、東京湾はどこでも泳げるほどにきれいになってきていると、この活動を高く評価されました。

次に、比嘉教授も視察されたばかりの吉高の大櫻が、スクリーンに大寫しにされると、会場は驚きとともにざわめきました。大雪にも枝に雪が積もらない桜、不思議な七色の光を放つ桜、EMで見事に再生された美しさに驚いたのです。



成田緑の会の報告は、EMをたくさん作って、安価に提供しているほか、小学校17校のプールへの投入、やさしいEM教室の開催、人が集まる行事への出店とEMの宣伝普及に努め、会員数も年々増えて、80名を超えていることが報告され、印旛沼の浄化を目標にこれからも頑張ろうとの決意が表明されました。

「EM技術の最新情報」と題して特別講演された比嘉照夫教授は、EMIによる塩の肥料化、EMの整流力による鳥獣害対策、収量のアップなど、比嘉セオリーとなる最新の情報にふれ、参加した来場者の活動に大きな力となりました。

【活動報告】群馬県太田市で飯塚菜友会がぼかしづくりと春の花の手入れ・除草作業

4月22日、群馬県太田市飯塚・菜友会のぼかしづくりがおこなわれました。当日は20名が参加し、22袋のぼかしをつくりました。また、同じ日、同会フラワークラブが春の花柄摘みと除草・清掃作業をおこない、街並みは、すっかり春の装いとなりました。



(情報提供：飯塚菜友会 中庭三夫さんから寄せていただきました)